

Q10b 「なんてん」による  $^{12}\text{CO}$  銀河面サーベイ III

水野亮、松永健一、森口義明、大西利和、水野範和、青山紘子、山本宏昭、伊藤雄樹、梅田裕介、中川眞規、笹子宏史、忠内可奈、前田普教、南谷哲宏、山岡健太郎、福井康雄 (名大理)

我々はチリ共和国ラスカンパナス天文台に設置した「なんてん」望遠鏡を用い、1998年より  $^{12}\text{CO}$  ( $J=1-0$ ) スペクトルを用いて南天の銀河面のサーベイ観測を行ってきた。2.6分角のビームに対し、銀緯  $\pm 10^\circ$  の範囲を  $|b| \leq 5^\circ$  の領域は4分角グリッドで、 $|b| \geq 5^\circ$  の領域は8分角グリッドで掃天している。これまでに100万点以上のスペクトルデータを取得し、銀河系中心領域を含む銀経  $220^\circ$  から  $60^\circ$  までの銀緯  $\pm 10^\circ$  の領域と、より高銀緯に位置するカメレオン座・おおかみ座・へびつかい座・わし座等の近傍の暗黒星雲について観測が終了している。本ポスターでは、昨年(2002年)の報告(2002年春季年会、水野他、福井他)に加え、新たに観測が進んだ第3象限の結果を中心に、銀河面サーベイ全体について報告する。